

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、新しい年を健やかに迎えられましたこと、お喜び申し上げます。旧年中は、地域の皆様、そして、関係団体、行政関係各位の皆様から温かいご支援、ご協力を賜り、職員一同心より厚く御礼申し上げます。本年も職員一同、新たな気持ちで皆様のお役にたてるように努力して参りたい所存です。

さて、新しい年を迎え、地域包括支援センターはどんな場所なのか、どんな相談ができるのかについて改めてお伝えしたいと思います。地域包括支援センターは、高齢者とご家族の為の総合相談窓口であり、昭島市内に4ヶ所あります。そして、私ども西部地域包括支援センター愛全園は、緑町、拝島町、田中町の皆様に担当して相談業務を行っております。役割と致しましては、主に、以下の4つです。

- ① 総合相談支援業務・・・介護予防をはじめ、様々なサービスの利用に関する相談
健康、福祉、医療、生活に関する相談、介護や暮らしについての心配やお困りごとに関する相談
虐待の早期発見と防止に関する相談
 - ② 介護予防ケアマネジメント業務・・・高齢者の方々が地域の中で自立して生活できるようにするための方法に関する相談
 - ③ 権利擁護業務・・・預貯金等の財産管理について、様々な契約等、適切な判断ができない方の為の成年後見制度、地域権利擁護等のご紹介、利用手続きのお手伝い、高齢者虐待の早期発見と防止に関する相談
 - ④ 包括的継続的ケアマネジメント支援業務・・・住み慣れた地域で自立して生活するために必要な援助、民生委員やケアマネージャー等の関係機関との連絡調整業務
- その他・・・介護保険制度の様々な事業のご説明やご案内、要介護認定の申請代行/昭島市が行っている事業(配食サービス、おむつの助成・給付、介護予防事業等)の説明と申込み代行

<相談方法>

お電話を頂ければご相談に応じます。状況により専門職が、ご自宅に訪問して詳しく相談に乗ります。守秘義務が課せられておりますので、安心してご相談下さい。相談は無料です。

2019年は亥年です。亥年には、「無病息災」の年とされています。皆様のご健康とご多幸、そして益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

今年も、より一層のご支援を賜りますよう、従業員一同お願い申し上げます。

敬具

平成31年1月

西部地域包括支援センター 愛全園
所長 丸山 和代

冬の火事を防ぎましょう！！！！

【質問】 火災の原因として一番多いストーブは？

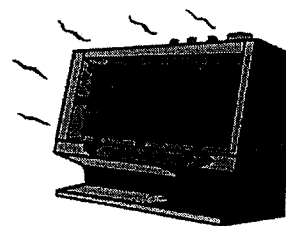
- ① 石油ストーブ ② ガスストーブ ③ 電気ストーブ

都民へのアンケートでは、火災発生の危険性が高いと思う暖房器具は80%の人が「石油ストーブ」と答えています。続いて「ガスストーブ」「石油ファンヒーター」の順となっています。

しかし、実際に多くの火災の原因となったのは・・・・

【答え】 電気ストーブです！

平成28年中で、ストーブから出火した住宅火災の8割が電気ストーブ（カーボンヒーター、ハロゲンヒーター等含む）が原因です。電気ストーブは給油等の手間がかからないことから手軽で安全にみえますが、あやまった使い方をすると危険です。火災を防ぐポイントを再確認し、尊い命を守りましょう。



火災を防ぐポイント（電気ストーブ編）

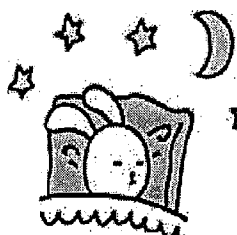
【電気ストーブの周りに、物を置かない！】

布団、衣類、雑誌などの可燃物をストーブのそばに置かないようにしましょう。また、ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさないようにしましょう。



【寝る時、離れる時はスイッチを切る習慣を！】

電気ストーブ火災は、夜明けから明け方にかけて最も多く発生。寝返りなどで布団がストーブに接触するおそれがあります。寝る時はスイッチを切り、使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。



【電源プラグや電源コードの清掃・点検を！】

電源プラグにホコリがたまらないようこまめに掃除しましょう。電源プラグやコードが傷んでいたら使用しないようにしましょう。

